

医薬協ニュース

406号

2005年(平成17年)5月

●目次●

- ・トピックス
DPCの導入影響評価の調査結果及び規制
改革・民間開放推進3か年計画(改定) 1
- ・平成17年4月度理事会報告 2
- ・委員会活動 くすり相談委員会 3
- ・リレー随想(生地 義明)
我家のワン公 5
- ・お知らせ 7
- ・活動案内 8

■編集

医薬工業協議会
総務委員会広報部会

■発行

医薬工業協議会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-10

日本橋銀三ビル

TEL03-3279-1890 FAX03-3241-2978



D P Cの導入影響評価の調査結果及び 規制改革・民間開放推進3か年計画(改定)

診療報酬調査専門組織の四分科会の一つであるD P C評価分科会は、このほど16年度のD P C(急性期医療における診断群分類包括評価)の導入影響評価の調査結果報告を各調査班から受けた。

調査は民間病院を含めた144施設を対象に、昨年6月～10月の退院患者に関する調査(基礎患者調査)と診断群分類の妥当性や、医薬品・医療機器などについての特別調査を行ったもの。それによると、D P Cの導入の影響とは必ずしも相関性が明確とはなっていないものの、後発医薬品の採用品目数や金額のシェアがともに^{ぜん}漸増。また、内服薬・注射薬の変化に関するアンケートでも、「後発品に変更した」「処方日数を短くした」など薬剤費削減の方向に向かった施設が、D P C未導入施設に比べて明らかに多いことも報告された。なお、D P C評価分科会では、17年度も同様、基礎患者調査と医薬品等に関連する特別調査を実施する。

政府は、このほど「規制改革・民間開放推進3か年計画(改定)」を決めた。昨年の3月に策定した規制改革推進のための新3か年計画に、規制改革・民間開放推進会議の第一次答申等で示した具体的な施策などを盛り込んだもの。

その中で3か年計画(改定)は、ジェネリック医薬品に関連し、「普及促進(後発品の使用環境の整備を図るとともに、一般名での医薬品処方の促進等、患者の視点に立って検討のうえ結論を得る)」ことについて、新たに17年度中に検討し結論を得ることを盛り込んだ。また、3か年計画では、引き続き医薬品関連事項として①治験実施体制の整備・促進(逐次実施)②医薬品に関する情報提供の推進(同)③後発医薬品の使用の促進(同)④新しい医薬品や医療用具の審査における指定調査機関の要件緩和⑤医療用医薬品に係る情報提供(患者向け説明文書の提供の実用化に関するガイドライン作成・周知。17年度の早期に措置)などが掲げられた。

平成17年4月度医薬協理事会報告

4月度理事会が4月14日千里阪急ホテル会議室において開催されましたので、付議事項についてお知らせいたします。

出席者：理事・監事13名、委員会・事務局2名

I. 審議事項

1. 第38回定期総会付議事項の件

【議事要旨】本年5月19日に開催される定期総会の付議事項について、提出された事業報告並びに事業計画及び平成16年度執行予算報告並びに平成17年度予算案等について審議された。

2. 日薬連等推薦委員の件

【議事要旨】各関連委員会より申し出のあった推薦候補者について原案どおり承認された。

II. 報告事項

1. 第8回IGPA総会参加者について
2. 第12回MR認定試験について
3. 新聞広告に対する反響について

III. その他

1. 規制改革推進3か年計画(改定)について
2. 第3回国際疾病分類学会学術大会について
3. その他

委員会だより

くすり相談委員会

くすり相談委員会の活動報告

医薬協くすり相談委員会運営委員会の開催は平成16年度については5回でした。また、従来開催しておりました全体研修会は改正薬事法に関する研修会や勉強会を薬事関連委員会合同で開催したことから、16年度は開催いたしませんでした。

運営委員会は14社で構成されていましたが、脱会等があり現在12社で活動しています。運営委員会では日薬連安全性委員会くすり相談部会での医薬品PLセンター報告、消費者くすり相談事業担当責任者連絡会議(厚労省安全対策課、医薬品医療機器総合機構、日薬連で構成)内容および各加盟団体活動報告について説明し、特に医薬品PLセンターでの斡旋・調整事例については意見交換を行い運営委員のスキルアップを図っています。

また、一昨年のくすり相談に関するアンケート結果からも判るように、医薬協加盟会社は医療用医薬品が主体であり、当然のことながら、相談も医療用医薬品に関するものが殆どでした。従いまして、運営委員会では、日薬連くすり相談部会報告だけではなく、同じく安全性委員会の部会である情報提供検討部会の報告も行い、情報の共有化を図っています。情報提供検討部会は、平成9年に発足し、医薬協は翌10年より参加し、現在2名の委員が部会の会議に出席しています。くすり相談委員会からも1名参加していますので、情報提供検討部会での討議内容等をフィードバックしています。情報提供検討部会の活動について少し述べさせていただくと、医療機関等より各企業に対し、いろいろな情報について提供依頼が来ますが、その情報提供の是非について部会で検討し、日薬連としての指針を出しております。以前は公取協と相談しなければならない事例が多かったのですが、最近は殆どが「各社対応」で終了しています。情報提供検討部会は毎月開催されるため、その情報が陳腐化しないように医薬協くすり相談委員会運営委員会では平成17年度は隔月開催にしたいと思っていま

す。

くすり相談の仕事は比較的地味な仕事と考えられがちですが、医薬関係者や一般消費者から寄せられる質問、クレームや意見に対して可能な限り必要な情報を提供し、相手の抱える問題や疑問点を解消させるという企業にとって大切な仕事です。東薬工の酒井理事長さんがある雑誌に、くすり相談は「気を使う仕事であり、市販後のくすりの安全対策面の他、営業的側面もあるし、会社の広報官のような色彩もある。おろそかにすれば会社の評価に関わるし、うまくすれば大いにファンができる。」と書いていらっしやいましたが、我々くすり相談に関わるものとしてはファンができるよう日々努力していきたいと思っています。



我家のワン公

ニプロファーマ株式会社

生地 義明

我家のワン公(名前はリン)は2歳半のアプリコットトイプードル雄犬であり、体重は2.9kgで足は長い。

近所の獣医の話だと、初心者が飼う犬としては最も飼いやすい犬だそうだ。毛が抜けるのが少なく、頭も悪くない。(半月で大小便もペットシートでするようになった。)ただ、トリミング代が高いのと、遊び好きなのが少々欠点である。

2002年12月の暮れに娘が結婚して出て行ったら、家が暗くなったらいけないとって、その前に買って来たと言って連れて来た。当初は手の上に乗るぐらい小さくおどおどしていた。

風邪を引いたら困るので、一晩中暖房を入れて寝たものでした。今は、居間にはゲージ、犬小屋、座布団等、犬の生活用品で占領されている状況で、自分でも過保護すぎるのではないかと思っている。

最初の頃は暑くても寒くても、よく散歩に行ったが、最近は自我に目覚めたか自己主張するようになり、寒い時などは、こたつに入ったまま散歩に行かなくなった。

我家の犬だけかわからないが、靈感があるように思う。我家の墓は和歌山県の橋本市にあり、昔は土葬であったせいか墓参りに連れて行った時、激しく吠え暴れた。又感受性も強いのか、リンを買ったペットショップに行った時、昔の事を思い出したのか、ガタガタ震えてかわいそうな位だった。(普通のペットショップではなんともなかったのだが)

散歩に行って感じる事だが、子供の手が離れ時間を持て余しているのか、何と我々の年代が、よく犬を飼っている。

我家のワン公の散歩コースは3通りあり、(1)近所(40分コース)の神社、

お寺、桃ヶ池、長池公園のコース(2) 土日曜日(1時間20分コース)の長居公園コース(3) 買物途中(20分コース)の帝塚山万代池コースである。

それぞれ犬、飼い主とも特徴があり、40分コースは大阪の下町で普通の犬が多く、大阪の普通のおっさん、おばはんで、20分コースの帝塚山コースは、高級住宅地域で大型犬が多く、それなりの飼い主が散歩している。1時間以上の長居公園コースは、色々な犬がおり、さながら犬の品評会に出ている感じがする。色々な犬がみられ、様々な飼い主の性格が見られ勉強になることがある。

これから何年、犬と散歩できるか、元気で健康管理しなければならないと思う。

次号は、高田製薬㈱の高田社長にお願いします。



お知らせ

☆第38回定期総会の開催について

標題について、次の通り開催しますのでお知らせいたします。

1. 日時：平成17年5月19日(木) 15:30～19:30

○ 定期総会 15:30～18:00

○ 懇親会 18:10～19:30

2. 場所：東京プリンスホテル

※定期総会開会の前に厚生労働省医政局経済課二川課長のご講演を予定しております。講演予定時間は14:20～15:20です。

※開催案内につきましては既にご案内しておりますのでご確認下さい。

活 動 案 内

<日誌>

4月4日	制度改革対応プロジェクト委員会薬価分科会	医薬協会議室
4月6日	薬事関係委員会連絡会	薬事協会会議室
"	ジェネリック研究委員会	"
4月8日	I G P A対応検討委員会	"
4月13日	制度改革対応プロジェクト委員会	東和薬品㈱会議室
"	委員長会議	"
4月14日	常任理事会	千里阪急ホテル会議室
"	理事会	"
4月19日	総務委員会広報専門部会	医薬協会議室
4月20日	薬価委員会	共同ビル会議室
4月21日	総務委員会広報部会	医薬協会議室
"	薬制委員会総括製造販売責任者連絡会	共同ビル会議室
4月27日	再評価委員会オレンジ部会	医薬協会議室

<今月の予定>

5月12日	関東ブロック会	薬事協会会議室
"	I G P A対応検討委員会	"
5月13日	総務委員会広報専門部会	医薬協会議室
5月18日	制度改革対応プロジェクト委員会	"
"	委員長会議	"
5月19日	常任理事会	東京プリンスホテル会議室
"	理事会	"
"	第38回定期総会	"
5月25日	総務委員会広報部会	医薬協会議室

| 編 | 集 | 後 | 記 |

東京では桜も終わり気温もだんだんと暖かい日が増えてきていよいよ春らしくなってきました。スギ花粉につづいてヒノキの花粉も飛散しはじめ花粉症の患者にとってはつらい毎日がもう少し続きそうです。

今年の東京の桜はあっという間に咲いてあっという間に散ったという感じでした。一度に開花したためか今年の満開の桜はみごとなものが多かったように思います。

さて、4月から改正薬事法も施行されましたが、まだ戸惑うことも多く、実施してみて気づく点も多々あり、私はひとつひとつ確認しながら進めていくといった状態です。

少し前に知人からたずねられ気づいたことがありました。お嬢さんが妊娠中なのだが、今年から花粉症になってしまったようで鼻炎の症状がひどく、たまりかねて医師に薬がほしいと頼んでみたというのです。医師からは「あなたは妊娠中なのです。薬など飲めるわけないでしょう。」と怒られてしまったそうです。

「やっぱり薬は飲まないほうがいいのかしら？」と言われました。

個人的な意見として私は妊娠中は命にかかわるようなことでもない限り薬の服用は避けたほうがいいと考えていました。花粉症は確かにつらい疾患であり、なんとか楽になりたいという気持ちもわからないわけではありませんが、命にかかわるものとは考えられません。

今は情報がたいへん豊富で一般の患者さんでもある程度詳細な情報を入手できるような環境にあります。「妊娠中の薬の服用は注意が必要である。」ということが当たり前になっていた私にとって自ら薬を希望する妊婦もいるということは驚きの点でした。

自分にとっては当たり前でも他人からみたら当たり前ではないということに気づきました。「そんなことは知っているだろうから」と説明を省いてしまうことによって、相手にはこちらの真意が伝わらなかつたり、間違った情報が伝わってしまつては困ります。当前のことだと思つていてもきちんと説明をしなければいけないのだと改めて考えさせられました。

「何事も相手の立場にたつて考えるべきである。」という言葉を実感しました。

(A. S)